



タンカー・バルカー等の構造に係る 基準整備に関する調査研究

概 要

(2011 年度報告書)

2012 年 3 月

財団法人 日本船舶技術研究協会

はしがき

本報告書は、日本財団の2011年度助成事業「船舶関係諸基準に関する調査研究」の一環として、タンカー・バルカー等構造関係プロジェクトにおいて実施した「タンカー・バルカー等の構造に係る基準整備に関する調査研究」の成果をとりまとめたものである。

本プロジェクトでは、船舶の防食塗装基準（PSPC）に関し、2008年7月1日建造契約船から適用されているバラストタンク等PSPC実施上の課題の抽出等PSPCの円滑な実施及び今後あり得る見直しに資するため、防食基準ワーキング・グループを設置し、検討を行った。また、IMOの海洋環境保護委員会（MEPC）で検討が行われている油流出による環境影響評価基準に関し合理的な基準を策定するとともに総合的安全評価（FSA）の関する審議のフォローを行うために、FSAワーキング・グループを設置し、検討を行った。また、IMOの船舶設計設備小委員会（DE）で検討が行われている船内騒音規制の見直し・義務化の対応を行うために、船内騒音基準ワーキング・グループを設置し検討を行った。さらに、IMOのばら積み液体・ガス小委員会（BLG）において検討が行われている国際ガスキャリアコード（IGCコード）の全面改正及び国際ガス燃料船コード（IGFコード）の策定に関し、適切な安全レベルを確保しつつ、船舶の設計及び運航形態を考慮した現実的な規則とすることを目的とし、IGCコード・IGFコードWGを設置し、検討を行った。

目 次

1. はじめに(調査研究の背景・目的)	1
2. プロジェクトの活動状況	3
3. 防食基準に関する検討	
3.1 IMO での審議状況	6
3.2 バラストタンク PSPC の課題整理に関する調査研究	7
3.3 バラスト水処理活性物質の塗膜への影響に関する調査研究	41
3.4 IMO 塗装基準に対応した船殻溶接仕様に関する調査研究	68
3.5 まとめ	96
4. FSA に関する検討	
4.1 IMO での審議状況	97
4.2 環境 FSA ガイドラインに関する調査研究	106
4.3 まとめ	164
5. 船内騒音基準に関する検討	
5.1 IMO での審議状況	165
5.2 IMO での審議状況に対応した国内における検討状況	184
5.3 まとめ	189
6. IGC コード・IGF コードに関する検討	
6.1 はじめに	190
6.2 改正 IGC コード作成作業への対応	191
6.3 改正 IGC コードの内航 LPG 船への影響調査	196
6.4 IGF コード策定作業への対応	200
6.5 まとめ	201
6.6 別添資料	202
7. おわりに	469

発行者 財団法人 日本船舶技術研究協会
〒107-0052
東京都港区赤坂 2-10-9 ラウンドクロス赤坂

電話 : 03-5575-6425 (代)
ファックス : 03-5114-8940 (代)
ホームページ : <http://www.jstra.jp/>

本書は、競艇の交付金による日本財団の助成金を受けて
作成しました。

本書の無断転載・複写・複製を禁じます。

